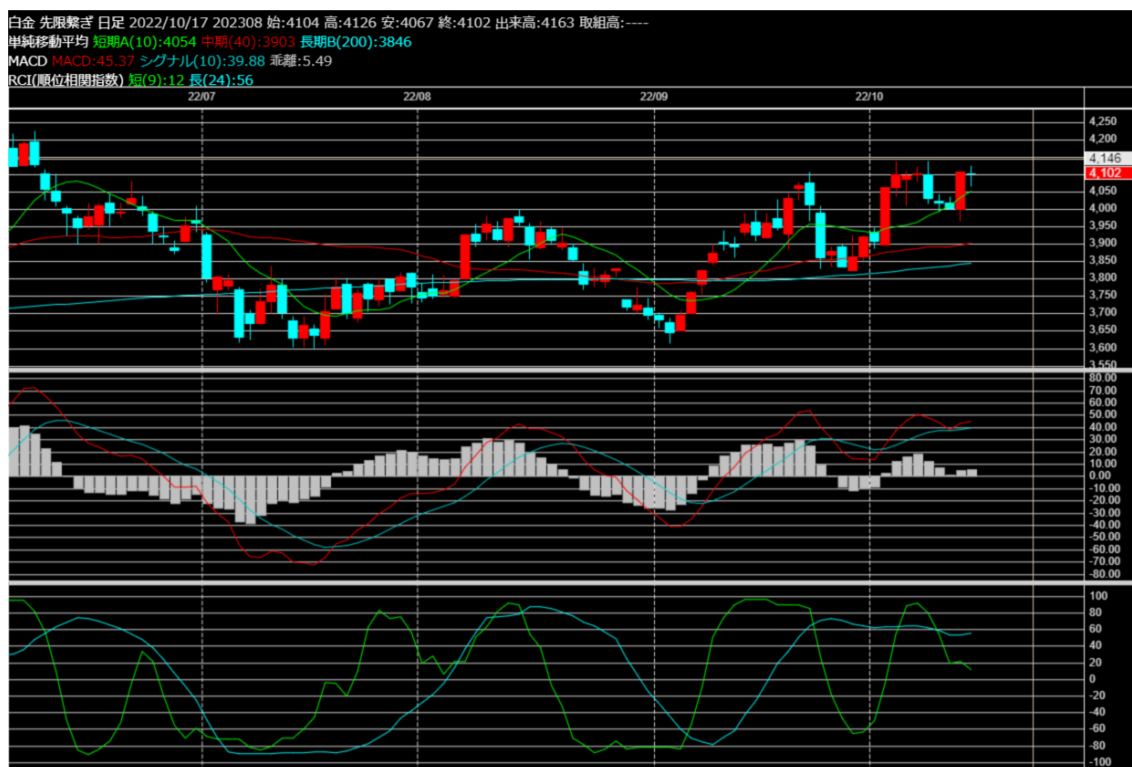


＜白金標準先物、LME の制裁と EU 首脳会議に注目・・・＞



(出所：オアシス)

13 日の消費者物価指数（CPI）や 14 日のイングランド銀行の緊急国債買い入れ策の終了期日に向けてリスク逃避の動きを強めたが、CPI の発表以降は英国政府の減税策の撤回観測が強まり、リスクの巻き戻しを強めた値動きを見せている。

特に週末 14 日にトラス英首相が記者会見で法人税の 19%から 25%への引き上げ凍結を撤回すると発表し、減税策を発表したクワーテング財務相を更迭するなど、市場の混乱の幕引きを考えた対応を見せている。また IMF 総会に参加しているイエレン財務長官は「市場が決定するドルをわれわれはそれを支持している」と発言しドル高の容認発言とも受け取れる事から、為替市場では円ドル相場が 1990 年以来の 148.78 円を付けている。

またロンドン取引所（LME）は 6 日から 3 週間の予定でロシアのルサル（アルミ）、ノリリスク（ニッケル）の指定倉庫の使用禁止を決定するか協議しており、19 日の EU 首脳会議でエネルギー問題が協議されるのに合わせて注目要因と思える。

そのため更なる制裁が発動される場合は、白金標準先物で 4140 円を上回る要因へ結び付くと考えられる事から下値は限定的となるのではないかと思います。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が切り上げているが、乖離が縮小しており転換に注意したい。RCI では **短期** が下げながら、**長期** は下げ進むなど強気は維持されており、日足が **10 日移動平均線** を上回り続けている以上は 4140 円を再度試す可能性は高いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,335,000 円(2022 年 10 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 10 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>